

授業改善書

科目名	環境学
担当者	小島望

授業の概要

人類は生物多様性(ヒトを含めた様々な生物のつながりとそれらを支える環境からなる全体)のもたらす様々な恩恵を享受することによって生存している。しかし、現代社会は生物多様性による恩恵を過小評価し、環境悪化はますます深刻化して解決困難な様相を呈している。

本講義では、環境問題を社会問題と捉え、問題解決には何が必要なのかを考えることを目的とする。扱うテーマは全て、①物事を様々な角度から考えること、②物事を批判的に見る目を持つこと、③常に弱者へ配慮を忘れないようにすること、④科学の限界を知ること、の4つの視座から成り、特に「山、川、海のつながり」に焦点をあてつつ、人と自然の密接なつながりについて理解できるような講義構成となっている。

授業の問題点

●例年、受講者が多過ぎるのが悩ましいところである(前期後期の年に2回ある講義なので、もう少し分散してもよい気がする)。

●グループワークの実施を考えていたが、人数が多過ぎてできなかった。

授業改善の課題・方策

●「聞き取りやすい、理解しやすい」、「中身のある授業でやる気になった」、「また授業を受けたい」、「今まで政治に興味なかったが～(略)～関心が生まれてきた」など、講義に満足してもらえたようで、非常に嬉しい。引き続き、学生の学習意欲を高めることができるよう尽力したい。

●講義の人数が多過ぎるので、受講者をせめて1クラス50人程度にしたい。学習効果をより高めるためには人数を絞ることが必要と考えられる。

その他

想定を上回る受講人数が集まり、受講者からの質問にひとつひとつ丁寧に答えるなどのきめ細かい講義ができなかったのは仕方ないことながら非常に残念であった。